

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17105006	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	ボトムアップナノテクノロジーを用いた高分子ナノデバイスの創製	研究代表者 (所属・職)	宮下 徳治（東北大学・多元物質 科学研究所・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>研究代表者らが先に開拓した両親媒性高分子の単分子膜作製技術をベースとする集積型高分子ナノシート構築技術を開発し、電子・光機能を付与した高分子ナノデバイスの創製ならびに無機ナノ粒子や液晶、生体タンパク等のナノ物質とのハイブリッド集積体による新機能の発現を目的とするもので、特に前者の高分子ナノシートによる電子ならびに光機能の構築に大きな成果を上げており、ここまで全体的にそれぞれの目標に向かって着実な進展をしている。</p> <p>残された期間、高分子ナノシートの特長を生かした各種ナノ物質とのハイブリッド集積体における新しい機能発現に努力され、計画書に唱われているボトムアップテクノロジーとその成果を期待する。</p>		

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。
